

豊正だより

第4号

令和6年7月17日発行
名古屋市立豊正中学校

地域の皆様に支えられている豊正中学校

先日、学校に次のようなお電話が入りました。

「道ばたに豊正中学校の生徒の落とし物があったので、お店で預かっています」
名前が分かっていたので、担任の先生が生徒の自宅に連絡を取り、落とし物は無事に持ち主の元に帰ることができました。また、「遅刻をしてきた生徒が学校の門のどこから入れればいいのか迷っているみたいですよ」と近くを通った地域住民から電話をいただいたこともあり、その生徒も無事に入ることができました。

思い返してみると、地域の住民の皆様からは同様の連絡を過去にも受けることがあったり、「財布が落ちていたので学校まで届けに来ました」「名札が落ちていたので届けに来ました」という方がいたり…。何かがあるとすぐに助けを差し伸べてくれる方々がこの地域にはたくさんいらっしゃいます。生徒の皆さんはそれほど意識はしていないかもしれませんが、名前も知らない多くの方々が見守ってくれています。

P T Aの役員や活動協力会員の保護者の皆様も、学期に1回のパトロールに加え、日常的に生徒の登下校時に生徒の様子を見守っています。そしてこの活動も保護者が自ら取り組んでくださっています。P T Aの方が昨年度の朝の挨拶運動のことを先日教えてくれました。「豊正中の子は本当に気持ちよく挨拶してくれるのでこちらも気持ちよくなります。本当にいい方向に学校が変わっていつてますね。」

残念ながら逆に、「下校時に道路いっぱいに広がって歩いているんですが…」

というお叱りの電話をいただくこともあります。しかしこれも地域の子どもたちである皆さんの成長を願っての声だと思えます。

皆さんが安心して学校生活を送ることが当たり前のようにできるのは、地域との結びつきも大きく関連しています。今後も豊正中学校が地域から愛され、より良い方向に皆さんが成長できるといいなあと思っております。

10組の七夕飾り



10組が呼び掛けをして七夕の飾り付けが東校舎の1階から2階にかけての階段にされました。初めは、10組生徒の作った飾り付けだけでしたが、短冊に願いを書いて飾る生徒がどんどん増えていきました。10組の生徒が短冊やペンを渡している姿もほほえましかったです。最終日の休み時間には多くの生徒が集まって願い事を書いてつるすまでになりました。

短冊がたくさん飾られた竹も最後には重みで大きくたわみました。願い事がたくさん叶うと良いですね。

(外国の方で学校配布の文書を読み取ることが難しい場合は、翻訳アプリを用いて読んでください。分からないことはご遠慮なくお尋ねください)

If it's difficult to understand letters from us, please use translation applications.

Don't hesitate to ask us.

很難理解我們的信的話，請使用翻譯軟件。請不要猶豫提問。

各学年の校外での行事が終わりました

6月は12日～14日の2年生稲武野外学習、17日の1年生校外学習（明治村での班活動）、25日～27日の3年生修学旅行と各学年が校外で行う活動が目白押しでした。一か月の間で朝の登校から下校まで3学年が学校で同じ時間を過ごしたのはわずか10日間だけでした。

いずれの行事でも帰ってきた生徒の様子は活動の疲れがあるものの「楽しかった」という表情に満ちあふれておりました。1年生・2年生・3年生とこうした行事を積み重ねることで個々の成長や集団としての成長が垣間見ることができ、私たちもうれしい限りです。

夜間中学の開校に向けた市民説明会・生徒募集について

教育委員会から上記の内容の保護者への周知が依頼されました。

市民説明会について

日時 9月7日(土)14:00～16:00(受付13:30～)

場所 名古屋国際センター 別棟ホール

(中村区那古野一丁目47-1)

9/7説明会参加QRコード



入学希望者向け学校説明会について

日時 8月3日(土)14:00～ 8月20日(火)19:00～

9月19日(木)19:00～ 10月6日(日)14:00～

会場 名古屋国際センター 4F第3研修室

夜間中学に入学できる人

義務教育の年齢(満15歳)を過ぎた方で次のどれかに当てはまる人

- 様々な理由で義務教育を修了できなかった人
- 本国で義務教育を修了していない外国籍の人
- 不登校などの事情により、義務教育が十分に受けられなかった人

夜間中学はこんなところ(名称:名古屋市立なごやか中学校)

- 2025年4月開校(開校予定地:名古屋市立笹島小中学校内)
- 週5日間、中学校の全教科の授業あり
- 教員免許のある教員が教える
- 全課程修了をもって中学校卒業
- 授業料・教科書は無料

9/7以外の内容に関わるQRコード



悩みを抱えている皆さんへ…各種相談について

昨今、「いじめ」を始めとする子どもの人権問題が大きな社会問題となっています。名古屋法務局と愛知県人権擁護委員連合会では、いじめや家庭内における虐待等に悩む子どもたちの声を拾い上げるために、専用相談電話「子どもの人権110番」およびインターネット人権相談受付窓口「子どもの人権SOS-èメール」や「LINE じんけん相談」が開設されており、子どもをめぐる人権相談に対応しています。同機関では、子どもたちの誰にも言えない悩みに、いち早く気付ける手段として、「子どもの人権SOSミニレター」を作成しており、先日本校では配付をしました。



このミニレターは、身近な人に相談できずにいる子どもたちの悩みごとを的確に把握していくことを目的としています。悩みごとがある人は、ミニレターを書いてポストに入れてください。なお、ミニレターの郵送料は、料金受取人払となっていますので、切手は不要です。相談内容については秘密が守られ、返答は人権擁護委員会が中心となって生徒の選択によって手紙または電話で行います。

電話相談窓口もあります

子どもの人権110番 0120-007-110 平日8:30～17:15



周りの大人に相談しにくいとか学校に連絡できない時間帯になってしまったということがあれば、「スタンドバイ」というアプリでタブレットやスマートフォンを通して名前を名乗らなくても24時間相談することができます。本日「スタンドバイ」のアクセスコードや相談方法を載せたカード(左のもの)を配付します。配付したカードのQRコードからアクセス可能ですので、利用してください。